

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公表番号】特表2003-528852(P2003-528852A)

【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2001-570615(P2001-570615)

【国際特許分類】

C 0 7 C 317/50 (2006.01)

A 6 1 K 31/198 (2006.01)

A 6 1 K 31/4166 (2006.01)

A 6 1 K 31/4245 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 C 323/58 (2006.01)

C 0 7 D 233/76 (2006.01)

C 0 7 D 271/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 317/50

A 6 1 K 31/198

A 6 1 K 31/4166

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/06

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 C 323/58

C 0 7 D 233/76

C 0 7 D 271/06

C O 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月24日(2008.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

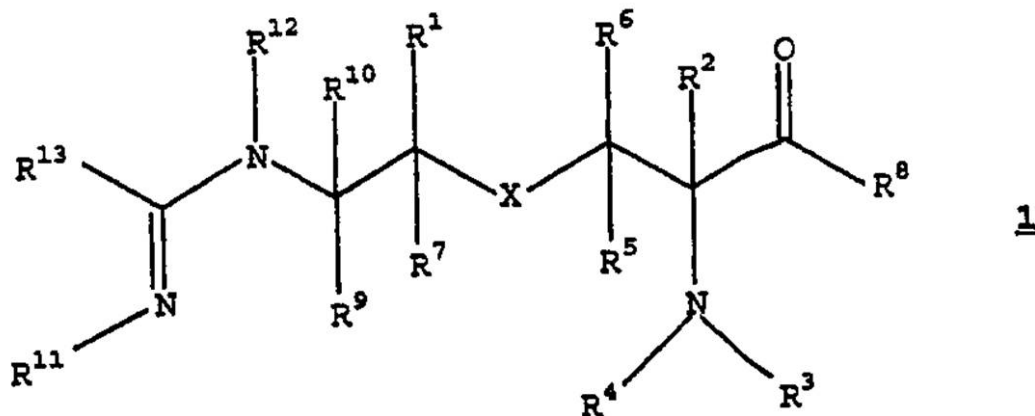
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式1:



に相当する構造を有する化合物またはその製薬上許容できる塩：但し、上記の式において
 : Xは-S-、-S(O)-および-S(O)₂-より成る群から選ばれ；

R²はC₁-C₆アルキル、C₂-C₆アルケニル、C₂-C₆アルキニル、C₁-C₅アルコキシ-C₁アルキルおよびC₁-C₅アルキルチオ-C₁アルキルより成る群から選ばれ；

R³およびR⁸に関し：R⁸は-OR¹⁴および-N(R¹⁵)(R¹⁶)より成る群から選ばれ；
 ;そしてR³は-H、-OH、-C(O)-R¹⁷、C(O)-O-R¹⁸および-C(O)-S-R¹⁹より成る群から選ばれるか；または

R⁸は-N(R²⁰)-であり、そしてR³は-C(O)-であり、この場合R⁸とR³とはそれらが結合される原子と一緒に環を形成するか；またはR⁸は-O-であり、そしてR³は-C(R²¹)(R²²)-であり、この場合R⁸とR³とはそれらが結合される原子と一緒に環を形成し；

R³が-C(R²¹)(R²²)-であるならば、R⁴は-C(O)-O-R²³であるか；さもなければR⁴は-Hであり；

R¹、R⁵、R⁶およびR⁷は、独立に、-H、ハロゲン、C₁-C₆アルキル、C₂-C₆アルケニル、C₂-C₆アルキニルおよびC₁-C₅アルコキシ-C₁アルキルより成る群から選ばれ；

R⁹およびR¹⁰は、独立に、-H、C₁-C₆アルキル、C₂-C₆アルケニル、C₂-C₆アルキニルおよびC₁-C₅アルコキシ-C₁アルキルより成る群から選ばれ；

R¹¹およびR¹²に関し：R¹¹は-H、-OH、-C(O)-O-R²⁴および-C(O)-S-R²⁵より成る群から選ばれ；そしてR¹²は-H、-OH、-C(O)-O-R²⁶および-C(O)-S-R²⁷より成る群から選ばれるか；または

R¹¹は-O-であり、そしてR¹²は-C(O)-であり、この場合R¹¹とR¹²とはそれらが結合される原子と一緒に環を形成するか；またはR¹¹は-C(O)-であり、

そして R^{12} は $-O-$ であり、この場合 R^{11} と R^{12} とはそれらが結合される原子と一緒になって環を形成し；そして R^{13} は C_1 アルキルであり；

R^{14} は $-H$ および C_1-C_6 アルキルより成る群から選ばれ；ここで R^{14} が C_1-C_6 アルキルであるとき、 R^{14} は、場合によって、シクロアルキル、ヘテロサイクリル、アリールおよびヘテロアリールより成る群から選ばれる 1 つまたは 2 つ以上の部分によって置換されており；

R^{15} および R^{16} に関し： R^{15} は $-H$ 、アルキルおよびアルコキシより成る群から選ばれ；そして R^{16} は $-H$ 、 $-OH$ 、アルキル、アルコキシ、 $-C(O)-R^{27a}$ 、 $-C(O)-O-R^{28}$ および $-C(O)-S-R^{29}$ より成る群から選ばれ；ここで R^{15} および R^{16} が、独立に、アルキルまたはアルコキシであるとき、 R^{15} および R^{16} は、独立に、場合によって、シクロアルキル、ヘテロサイクリル、アリールおよびヘテロアリールより成る群から選ばれる 1 つまたは 2 つ以上の部分によって置換されているか；または

R^{15} は $-H$ であり；そして R^{16} はシクロアルキル、ヘテロサイクリル、アリールおよびヘテロアリールより成る群から選ばれ；

R^{17} 、 R^{18} 、 R^{19} 、 R^{20} 、 R^{21} 、 R^{22} 、 R^{23} 、 R^{24} 、 R^{25} 、 R^{26} 、 R^{27} 、 R^{27a} 、 R^{28} および R^{29} は、独立に、 $-H$ およびアルキルより成る群から選ばれ、ここでアルキルは、場合によって、シクロアルキル、ヘテロサイクリル、アリールおよびヘテロアリールより成る群から選ばれる 1 つまたは 2 つ以上の部分によって置換されており；そして

R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 、 R^{16} 、 R^{17} 、 R^{18} 、 R^{19} 、 R^{20} 、 R^{21} 、 R^{22} 、 R^{23} 、 R^{24} 、 R^{25} 、 R^{26} 、 R^{27} 、 R^{27a} 、 R^{28} および R^{29} がいずれも、独立に、アルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシ、アルキルチオ、シクロアルキル、ヘテロサイクリル、アリールおよびヘテロアリールより成る群から選ばれる部分であるとき、その部分は、場合によって、 $-OH$ 、アルコキシおよびハロゲンより成る群から選ばれる 1 つまたは 2 つ以上の置換基によって置換されている。

【請求項 2】

X は $-S-$ 、 $-S(O)-$ および $-S(O)_2-$ より成る群から選ばれ； R^2 は C_1-C_6 アルキルおよび C_1 -アルコキシ- C_1 アルキルより成る群から選ばれ、 R^8 は $-OR^{14}$ であり； R^3 は $-H$ であり； R^4 は $-H$ であり； R^1 、 R^5 、 R^6 および R^7 は $-H$ であり； R^9 および R^{10} は $-H$ であり； R^{11} は $-H$ であり； R^{12} は $-H$ であり； R^{13} は C_1 アルキルであり； R^{14} は $-H$ である

請求項 1 に記載の化合物またはその製薬上許容できる塩。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の式 1 の化合物またはその製薬上許容できる塩を含む、医薬組成物。

【請求項 4】

化合物が $S-[2-[(1-イミノエチル)アミノ]エチル]-2-メチル-L-システイン$ ； $S-[2-[(1-イミノエチル)アミノ]エチル]-2-エチル-L-システイン$ ； $S-[2-(1-イミノエチルアミノ)エチル]-2-メチル-(D/L)-システイン$ ； $(2R)-2-アミノ-3-[[2-[(1-イミノエチル)アミノ]エチル]スルフィニル]-2-メチルプロパン酸$ ；および $(2R)-2-アミノ-3-[[2-[(1-イミノエチル)アミノ]エチル]スルフォニル]-2-メチルプロパン酸$ からなる群から選択される請求項 3 に記載の医薬組成物。